

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25859] 膾グルカゴン

受託開始日

- 平成25年6月3日(月)

膵グルカゴン

グルカゴンは、膵臓のランゲルハンス島の α 細胞から分泌されるホルモンで、肝臓に作用し、グリコーゲンを分解して血中にブドウ糖の放出を促します。

血中グルカゴン値が上昇する疾患として、グルカゴン産生腫瘍(グルカゴノーマ)、糖尿病、急性および慢性膵炎、肝硬変、腎不全、飢餓などがあります。一方、血中グルカゴン値が低下する疾患として、慢性膵炎非代償期での膵性糖尿病、下垂体機能低下症、グルカゴン欠損症などがあります。

グルカゴン検査は測定試薬の国内販売が中止され、弊社でも平成22年1月末をもって検査受託を中止しましたが、今回新たに測定試薬の製造販売が開始されたことから検査受託を開始致します。

検査要項

項目コード	25859
検査項目名	膵グルカゴン
検体量及び保存方法	血漿 0.6mL/凍結 [容器番号：08番(アプロチニン容器)→02番(汎用容器)]
検査方法	RIA(二抗体法)
基準値	70~174 (pg/mL)
所要日数	5~7日
検査実施料	150点([D008] 内分泌学的検査)
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ))
備考	<ul style="list-style-type: none">●ご出検の際には、アプロチニン容器(容器番号08番)に採血後、直ちに十分混和し、冷却遠心分離後に血漿を提出容器(容器番号02番)に移し凍結保存の上、ご提出ください。●溶血の影響により測定値が低値となる場合があります。●乳ビの影響により測定値が高値となる場合があります。

参考文献

河邊 顕, 他: 日本臨床, 68(増7), 529~532, 2010.